

パートナーシップ宣誓制度の県民意見等の状況

(くらし・環境部県民生活局男女共同参画課)

1 パートナーシップ宣誓制度の県民意見（パブリックコメント）

(1) 意見募集期間 令和4年5月6日（金）から6月3日（金）まで

(2) 意見件数 242通 541件

	項目	件数		項目	件数
①	制度創設の目的・基本的考え方	373	③	サービスに関すること	35
②	要件・手続に関すること	40	④	その他の意見	93

(3) 主な意見の内容

ア 制度創設の目的・基本的考え方

- ・伝統的な家族・婚姻制度の崩壊が危惧される。
- ・子どもの教育や女性の生活環境などに悪影響が生じる可能性がある。
- ・当事者の困りごとは、現行制度の中で個別に対応すれば解消するのではないか。
- ・県内外の制度の利用実績が少なく、当事者から求められていないのではないか。
- ・パートナーとの関係性を周りに説明しやすくなる当事者が増える。
- ・制度を使わない当事者も、自身の存在を社会から否定されていないと思える。
- ・県内に暮らすことを選択した当事者が安心して暮らせるよう制度を実現し、制度を通じて理解が深まり、諸問題が解決されることを期待する。
- ・SDGs の目標の多くに当てはまる大事な制度だと思う。

イ 要件・手続に関すること

- ・受付窓口の拡大、郵送・メールでの手続、土日の手続など検討してほしい。
- ・ファミリーシップという言葉も併記したほうが分かりやすい。
- ・受領証等は簡単に複製できないようなものにする必要がある。

ウ 宣誓書受領証等を活用して宣誓者が受けられるサービスに関すること

- ・企業への啓蒙を行うと共に、民間サービスの拡大を働きかけて欲しい。
- ・婚姻関係と同等の選択肢ができるものであってほしい。
- ・サービスの提供ができる企業等が見える化してほしい。
- ・受けられるサービスが増えること等で不正利用などの懸念がある。

エ その他の意見

- ・多様な性のあり方等を学習する機会の創設もセットでお願いしたい。
- ・他の県や市と連携し、相互利用ができるようにしてほしい。

2 県政インターネットモニターアンケート

(1) 実施時期 令和4年5月24日(火)から6月6日(月)まで

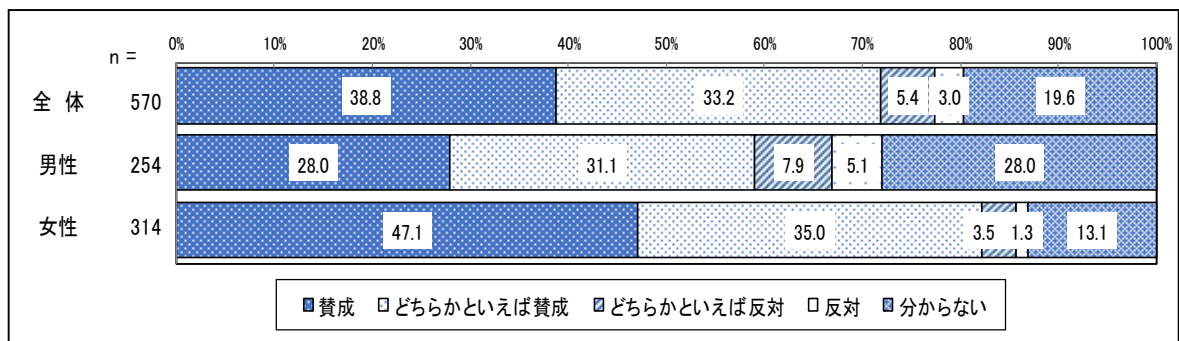
(2) 回答数 570人(男性:254人、女性:314人、その他:2人 回答率:84.1%)

(3) 結果概要

ア 全体

パートナーシップ制度導入の賛否について尋ねたところ、全体では、「賛成」が38.8%、「どちらかといえば賛成」が33.2%と、導入を肯定的に考える人の割合は72.0%であった。

性別で見ると、女性は「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と答えた割合が男性に比べて高い結果となった。



イ 年代別

年代別で見ると、「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と答えた割合は、10代は100%、20代は94.6%、30代は84.0%と、若い年代ほど肯定的に考える人の割合が高い結果となった。

